

1/22 第3回ビブリオバトル

発表参加者



3名の学生が、様々なジャンルの本について個性豊かなストーリーを交えて紹介し、その場に居合わせた参加者は熱心に耳を傾けていました。投票の結果、第3回は「The Fault in Our Stars」John Green（著）がチャンプ本に選ばれました。

1/25 屋島山上にて「一夜かぎりのちようちんカフェ」

手作り提灯によって店内を装飾



高松観光振興プロジェクトの学生が中心となって企画されたイベントで、高松市の伝統工芸である「讃岐提灯」と屋島の夜景を活かして、幻想的な空間が演出されました。カフェでは、学生らが考案した、オリジナルメニューを参加者へ提供しました。

1/28 Farewell Lunch Conversation

みんなで歌をうたいました♪



OLIVE SQUARE で Farewell Lunch Conversation が行われました。今回は近々帰国する留学生と先生たちを囲んで、みんなで歌をうたったり、寄せ書きを渡したりして、別れを惜しみつつも楽しくランチタイムを過ごしました。

2/1 本の福袋

図書館中央館 福袋陳列の様子



節分祭・バレンタイン特別企画『本の福ぶくろ』が図書館に登場！図書館員が選んだ本が2冊入っており、袋の中の作品は、袋を開けてからのお楽しみ。また、当たり袋にはプレゼントが入っているというのも嬉しいですね。

2/2 日本中国語検定協会理事長との懇談会

記念撮影



日本中国語検定協会理事長上野恵司先生（共立女子大学名誉教授）とネクストプログラム 受講の1年生生の懇談会が行われました。先生から、ご自身の中国語学習経験などを話された後学生たちを激励され、大変有意義な懇談会となりました。

2/4 Campus Lunch Cafe

コンサートの様子



415 教室でお昼休みにウィンターコンサートが行われました。教育学部の学生さんが奏でる、フルート、ピアノ、クラリネットの心地よい音色とともに食べるお昼ご飯はいつもより豪華な気分になりました。

第9回 わくわくコンサート



実行委員長
教育学部4年 白井 優衣さん

「わくわくコンサート」は、一般の音楽会に参加することが難しい子ども（特別支援学級等も含む）と保護者、支援の必要な方を対象とした音楽鑑賞会を開催し、音楽鑑賞の機会を提供すると共に、支援の必要な方もそうでない方も共に集える市民の「共生」の場の提供とすることを目指しています。

音楽会を聴きに行きたいと願ってもなかなかコンサートホールに足を運ぶことができない方はたくさんいます。コンサートを無償とすることにこだわり、また、幼児教育を学ぶ学生を中心に託児を行ったり、特別支援教育で学ぶ学生たちが教員のアドバイスのもとに支援を必要とする方をサポートしたりすることで、誰でも気軽に立ち寄ることができる環境づくりを目指して活動しました。これらの工夫もあったのか、たくさん笑顔を見ることができたことは実行委員、ボランティアにとって大きな喜びとなりました。互いに助け合うこと、支えあうことでみんなが不自由なく、支えあって楽しめるということを実感できるイベントになりました。年間を通して、本当にたくさんの方々のご支援の中で、今回も大成功のうちに終了することができましたこと、皆様にご心よりお礼申し上げます。

来年も、もっともっとわくわくするコンサートをお届けします。

実行委員
教育学部4年 小林 遼香さん

今回で9回目となるわくわくコンサート。例年に引き続き多くのお客様にご来店いただき、小さなお子様から大人の方まで、たくさん笑顔を見ることができました。イタリア、「V」をテーマとし、バレンタインデーにちなんだ演奏会とロビーイベントを開催しました。プログラムは、ヴィオラ独奏、ナポリ民謡、ヴィヴァルディの「四季」や交響曲「イタリア」、ヴェルディのオペラなどでプログラムを組みました。ロビーでは楽器体験をはじめ、イタリア展示、イタリアクイズなど様々なイベントが行われ、ご来場の皆様にイタリアの雰囲気を楽しんでいただけたのではないかと思います。演奏を食い入るように聴いている子どもたち、楽器体験では並んでいる楽器に興味津々の子どもたち、プレゼントのハート型のバルーンを嬉しそうに持ち帰るお客様の姿を見て、このコンサートの意義を改めて感じることができました。毎年、実行委員会を中心として、たくさんの方々の学生や地域の方々に関わっていただきながら創り上げられるわくわくコンサートが、これからもつながってほしいと心から思います。



学生 VOICE は、「香川大学メールマガジン」にも掲載しています。メールマガジンでは、他にも大学の最新ニュース、イベントのご案内など、大学の情報を月に1回お届けしています！

2月の「カダイ・ラボ」はキャリア支援センターの杉本先生にご執筆いただきました。先生のプロフィールも掲載中です。バックナンバーの閲覧、登録はこちら